

北海道浮魚ニュース

平成 22(2010)年度 8 号

2010 年 7 月 16 日

北海道立総合研究機構 水産研究本部
釧路水産試験場

ホームページ : http://www.fishexp.hro.or.jp/ukiuo/uki_index.htm

第 1 回太平洋スルメイカ長期漁況予報発表される

7 月 16 日に平成 22 年度第 1 回太平洋スルメイカ長期漁況予報文が、水産庁より発表されました。詳細な予報文は下記のホームページに掲載されます。

※水産庁 URL : <http://www.jfa.maff.go.jp/j/press/>

今後の見通し (2010 年 7~9 月)

対象魚種 : スルメイカ

予測海域 : 道東太平洋海域、
津軽海峡~道南太平洋海域、
常磐~三陸海域

対象漁業 : いか釣り、底曳網、定置網、まき網

対象魚群 : 冬季発生系群 (2010 年級群)

● 道東太平洋海域 (いか釣り、底曳網)

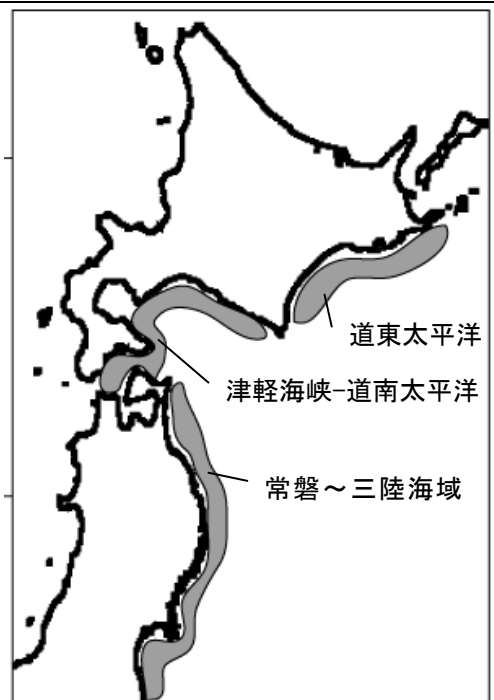
- ・ 来遊量 : 前年を下回る。
- ・ 漁期・漁場 : 前年より遅い。
- ・ 魚体 : 前年より小さい。

● 津軽海峡~道南太平洋海域 (いか釣り、定置網)

- ・ 来遊量 : 前年を下回る。
- ・ 漁期・漁場 : 対象期間を通じて形成。
- ・ 魚体 : 前年より小さい。

● 常磐~三陸海域 (いか釣り、底曳網、定置網、まき網)

- ・ 来遊量 : 前年を下回る。
- ・ 漁期・漁場 : 対象期間を通じて形成。
- ・ 魚体 : 前年並みか小さい。



※ 今年 6 月の太平洋スルメイカ漁場一斉調査の結果、スルメイカは東北地方沿岸から太平洋の沖合まで広く分布していましたが (図 1) , 調査海域全体の分布密度は前年を下回りました (図 2) 。このことから、来遊量は道東太平洋と津軽海峡~道南太平洋ともに「前年を下回る」予想となっています。ただし、分布密度の高かった太平洋沖合のスルメイカが、秋以降に太平洋沿岸に来遊する可能性があります。

スルメイカの大きさは沖合域と津軽海峡~道南太平洋海域ともに前年よりも小さくなっていったことから (図 3) , 前年よりも小型の予想です。

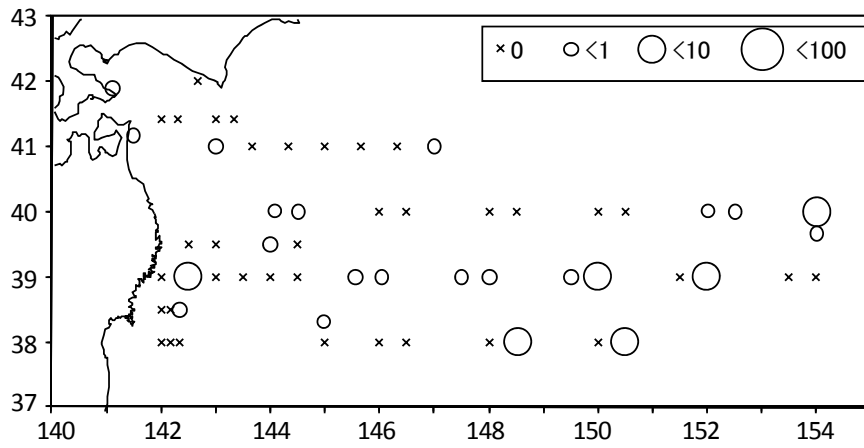


図1 2010年6~7月の太平洋漁場一斉調査におけるスルメイカの分布密度
 ※分布密度はCPUE(イカ釣機1台1時間当りの平均漁獲尾数)で示した。

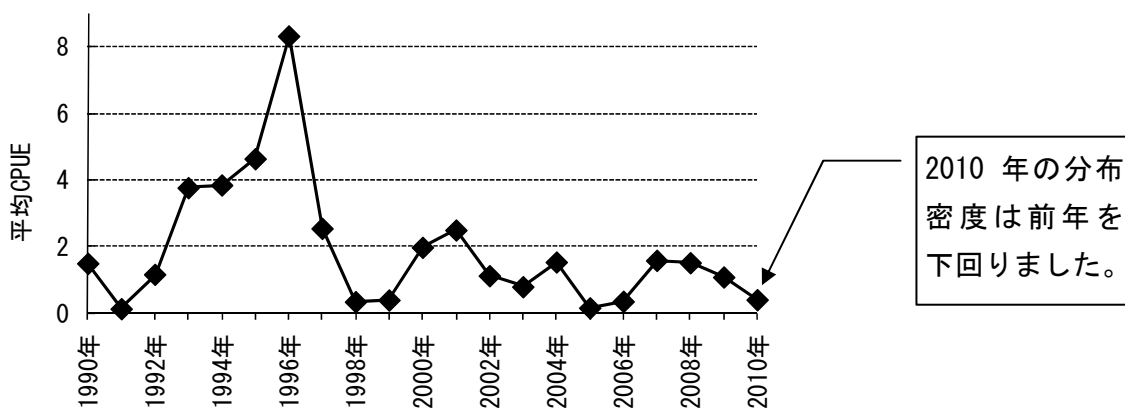


図2 6月の太平洋漁場一斉調査における調査海域全体のスルメイカの分布密度

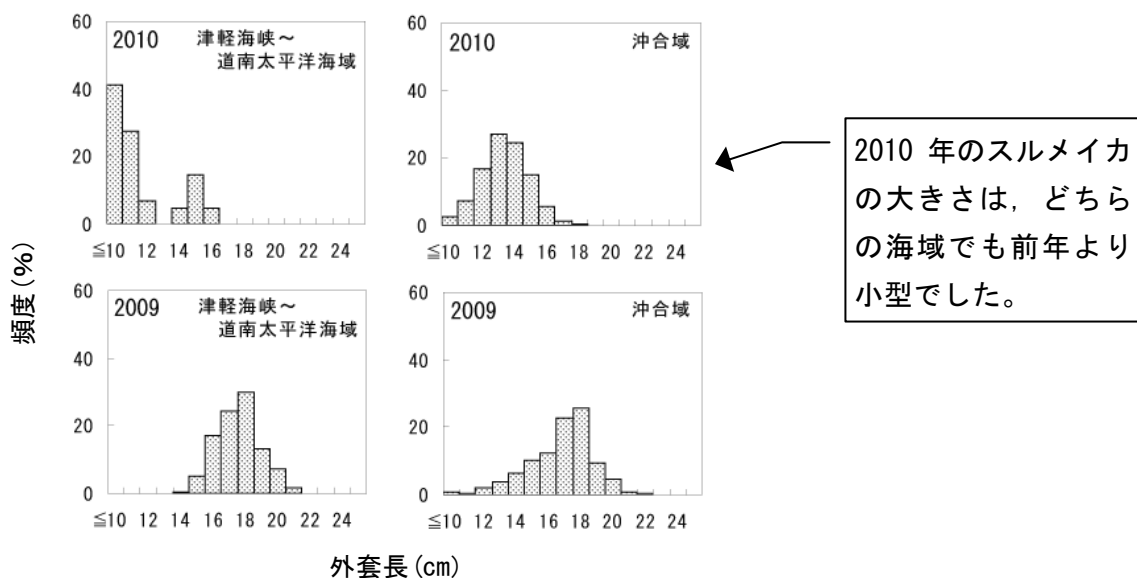


図3 6月の太平洋海域におけるスルメイカの外套長組成(注:沖合域は東経143°以東)

注)図やその元データは平成22年度第1回太平洋スルメイカ長期漁況予報会議資料より。

(文責:釧路水産試験場 調査研究部, TEL:0154-23-6222、FAX:0154-23-6225)